

差別と偏見そして共生へ

#心のバリアフリー化

#心のグローバル化

障がい者差別においても人種差別においても、排除しようとする根本的な心のメカニズムは同じではないだろうか。社会は多数派の視点によって動かされているからこそ、そうした心無い心理や行動がなくならないのではないだろうか。

わたしたちの「心」に着目し、「#心のバリアフリー化」「#心のグローバル化」の二つの視点から、差別と偏見の実態への学びを深めていく。

本講演会では、三人の障がい者・人種の両カテゴリーに関する講師をお招きし、講演者、学部生からなる学会員と参加者との対話を重視したインタラクティブな知的交流の場としてこの講演会をおこなう。

講演者を通して差別・偏見の実態を学び、参加者全員で差別が生まれる心のメカニズムについて議論し、共生の道筋を考えていく。



高木俊介
たかぎしゅんすけ

精神科医・たかぎクリニック院長。京都で重症精神障害者に対する多職種チームによる訪問支援である ACT-K を主宰。精神病院のない社会をめざしている。また、障害者就労支援をシステムに乗らず行うためにその他の事業にも取り組んでいる。こころの医療宅配便(文藝春秋)「ACT-Kの挑戦」(批評社)「精神医療の光と影」(日本評論社) 他

講演会タイトル:「精神病院大国日本における精神障害者作られた差別」



中嶋涼子
なかじまりょうこ

9歳の時突然歩けなくなり、下半身不随になり車いす生活へ。大学は渡米し映画学部を卒業後、FOX ネットワークスにて働く。現在は車椅子インフルエンサーとして活躍中。

講演会タイトル:「心のバリアフリー～一歩踏み出す勇気が人生を変える～」



趙明浩
チョ ミョンホ

京都朝鮮中高級学校・校長。在日コリアン3世であり、朝鮮大学校政治経済学部を卒業する。日本社会における在日コリアンに対するステレオタイプの打破と共生という「心のグローバル化」のあり方を探りながら、朝鮮学校で教員を務める。

講演会タイトル:「戦後75年の歴史を歩んできた在日朝鮮学校の過去・現在・未来」

日時
2021年12月11日(土)
15:00～18:00

申込締切日
12月9日(木)当日含む
参加事前申し込みフォーム



会場
Zoom開催(事前申し込み要)

講演者
高木俊介氏 中嶋涼子氏 趙明浩氏

タイムスケジュール

15:00 開会
15:10 趙明浩氏 「戦後75年の歴史を歩んできた在日朝鮮学校の過去・現在・未来」
15:40 高木俊介氏 「精神病院大国日本における精神障害者 作られた差別」
16:10 休憩
16:20 中嶋涼子氏 「心のバリアフリー ～一歩踏み出す勇気が人生を変える～」
16:50 議論・質疑応答
17:40 閉会

問い合わせ先

同志社大学 グローバル地域文化学会委員会
MAIL: grgakkai2021@gmail.com

入場無料

学生・一般歓迎
(要事前予約)



同志社大学
Doshisha University

主催: グローバル地域文化学会学生
学生名: 樋上真央・吉村南泉・森礼奈・橘直美・詹東・井上璃音
オイクル沙良エレーナ・ペ エレーナ・前麻美・井上美波・加藤結子